■クリスマスチャリティー公演について

SUBARU労連の皆さまには、日頃から劇団四季の活動に温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。このたび、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、お客様に安心してご観劇いただける環境を整えることが難しいことから、今年度のクリスマスチャリティー公演の実施を見送らせていただくこととなりました。公演を楽しみにしておられる皆さまのお気持ちを考えると、大変残念でなりません。

劇団四季は演劇を通して「人生の喜び」「生きる感動」を届けることをモットーに、創立以来60年以上にわたり、日本全国で活動を続けております。また、演劇は社会に寄り添う芸術であり、社会から何かを得るだけでなく、社会にどう奉仕できるかを考えなければいけないとも考えてきました。

そんな我々にとって、1976年以来、脈々と継続しているクリスマスチャリティー公演は、劇団の誇りであり、最も大切な仕事として位置づけられています。毎年全国の劇場を巡るなかで、私たちはたくさんのお客様たちと出会うことができ、その笑顔や歓声を心の糧としてまいりました。

今年のクリスマスチャリティー公演ができないことは残念ですが、このコロナ禍を乗り越え、来年は来場されるお客様に、皆様とご一緒にクリスマスプレゼントをお届けできることを信じています。

■ご支援について

この度は劇団四季に対し、大きく温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、この 6 月末までで年間公演 の3分の1を中止することとなり、かつてない事態と損失に直面しております。この未曽有の日々に、劇団内でもさまざまな努力を重ねております。しかし、以前のように連日満席のお客様に観劇をお楽しみいただけるまでには少し時間がかかる状況で、新型コロナウイルス感染症が収束するまで、ダメージを受け続ける見込みです。

そんな我々にとって、今回頂戴するご支援は、劇団活動の維持や中止公演の損失補填、および今後の活動資金として組織を支える、大変心強いものでした。劇団を代表して心より御礼を申し上げます。
お心を支えに舞台芸術を守る戦いを続け、演劇の感動を未来に繋げて参ります。

今後とも劇団四季の活動にご支援を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

劇団四季
代表取締役社長
吉田智誉樹